

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成24年5月5日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2009～2011

課題番号：21520313

研究課題名（和文）ギヨーム・ギヤール『王朝系譜』の言語地理学的・文献学的語彙研究

研究課題名（英文）Philological and Dialectological Studies on the Vocabulary of the Branche des royaux lignages of Guillaume Guiart

研究代表者

松村 剛 (MATSUMURA TAKESHI)

東京大学・大学院総合文化研究科・准教授

研究者番号：00229535

研究成果の概要（和文）：本研究においては、Buchon および Wailly-Delisle によって刊行された中世フランス語のギヨーム・ギヤール『王朝系譜』の語彙を、フランス国立図書館に所蔵されているフランス語写本 5698 番と比較しながら検討した。刊本の間違いに基づく各種辞書の記述の誤りを修正しつつ、このテキストがフランス語史と言語地理学にとって興味深い多くの単語を含んでいること、フランス西部に特有の語彙をもつことを明らかにした。

研究成果の概要（英文）：With this grant-in-aid for scientific research, I studied the vocabulary of the old french *Branche des royaux lignages* of Guillaume Guiart, published by J.-A. Buchon and N. de Wailly-L. Delisle. I compared the two publications with the manuscript fonds français 5698 of the Bibliothèque nationale de France, Paris, and observed that the modern editions and dictionaries have diverse faults. At the same time, I certified that this text contains numeros words of great interest for the history of the french language and the geographical linguistics and various words characteristic of the Western France.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	1,200,000	360,000	1,560,000
2010年度	1,100,000	330,000	1,430,000
2011年度	1,000,000	300,000	1,300,000
年度			
年度			
総計	3,300,000	990,000	4,290,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学、ヨーロッパ文学（英文学を除く）

キーワード：中世フランス語、フランス語史、年代記、地方語、語彙論

## 1. 研究開始当初の背景

(1) 本研究は、平成 18・19・20 年度科学研究費補助金基盤研究（C）「中世フランス語版未刊行『金持ちとラザロ』の言語地理学的・文献学的語彙研究」（課題番号 18520173）において松村が挙げた成果を継承しつつ、中世フランス語で書かれたギヨーム・ギヤールの年代記『王朝系譜』を対象にして研究を推

進しようとするものとして開始された。それまでの3年間の研究は、中世フランス語版未刊行『金持ちとラザロ』を取り上げ、従来ほとんど研究されてこなかったこの未刊行作品の語彙をフランス語史ならびに言語地理学の観点から網羅的に検討し、フランス語の歴史と地理においていかに重要な用例がそこに含まれているかを浮き彫りにするもの

であった。従来の知見を補完するような多数の初出と地方語を見出すことができ、その間、ヨーロッパの学術誌、記念論文集、学会記録などに多数の論考を發表し、中世フランス語のテキストならびにフランス語史関連の研究書・辞書に関する文献学的な批判的読解の作業も進めてきた。

(2) 本研究で対象とする『王朝系譜』(*Branche des royaux lignages*) は、オルレアン出身のギヨーム・ギヤール (Guillaume Guiart) が 1306-1307 年に書いた韻文年代記であるが、1828 年に J.-A. Buchon によって出された校訂版 (*Branche des royaux lignages, chronique métrique de Guillaume Guiart*, Paris, Verdrière) と 1865 年の N. de Wailly et L. Delisle による部分的校訂版 (*La Branche des royaux lignages, par Guillaume Guiart*, 「フランス歴史家叢書」[Recueil des Historiens de la France] 第 22 巻、171-300 頁) がある。しかしながら、刊本の誤読を修正するために写本と校訂版を全面的に比較検討した研究者はおらず、そのために刊本を引用する各種辞書には多数の間違が見られるのであった。

(3) そのため、文献学的手法に基づいて、フランス語史と言語地理学の観点から注目すべきこの作品の総合的な語彙研究を行う必要性は大きいものであった。

## 2. 研究の目的

(1) 上記の通り、従来の研究に欠落していた要素を補完すべく、ギヨーム・ギヤール (Guillaume Guiart) 作『王朝系譜』(*Branche des royaux lignages*) をパリのフランス国立図書館 (Bibliothèque nationale de France) 所蔵、フランス語写本 5698 番に基づいて研究し、その過程で J.-A. Buchon の校訂版 (*Branche des royaux lignages, chronique métrique de Guillaume Guiart*, Paris, Verdrière, 1828) ならびに N. de Wailly et L. Delisle による部分的校訂版 (*La Branche des royaux lignages, par Guillaume Guiart, dans Recueil des Historiens de la France*, t. 22, 1865, p. 171-300) の間違いを訂正する。

(2) ほとんど場合上記校訂版を使うにとどまり、写本を参照していない各種辞書、とりわけ F. Godefroy の 10 巻本『古フランス語辞典』(*Dictionnaire de l'ancienne langue française et de tous ses dialectes*)、A. Tobler et E. Lommatzsch の 12 巻本『古フランス語辞典』(*Altfranzösisches Wörterbuch*)、W. von Wartburg が創始した 25 巻本『フランス語語源辞典』

(*Französisches Etymologisches Wörterbuch*) の記述の修正を文献学的に行う。

(3) そしてこの作品の語彙を網羅的に検討し、言語地図と各種辞書を批判的に活用しつつ、用例の言語地理学的・フランス語史的意義を明らかにする。単語の初出に着目して従来のフランス語史の記述を補完する要素を明示しつつ、系統的な語彙集成を作成することを目指すものである。

(4) このように従来無批判に校訂版によって引用されてきたこの作品を厳密な文献学的手法に基づいて写本検討を通して研究すれば、松村が校閲者を務め、現在刊行されつつある『古フランス語語源辞典』(*Dictionnaire étymologique de l'ancien français*) (ハイデルベルク大学) に多くの寄与をすることができるであろうし、部分的に改訂版を作成しつつある『フランス語語源辞典』(*Französisches Etymologisches Wörterbuch*) (ナンシー、フランス国立国語研究所) の補足・修正にも役立つであろうし、「『フランス語宝典』語源項目の再検討」(TLF-Etym) および「幽霊語研究」(Base des Mots-Fantômes) にも多数の貢献をすることができるであろう。

## 3. 研究の方法

(1) フランス国立図書館 (Bibliothèque nationale de France) 所蔵フランス語写本 5698 番のマイクロ・フィルムと既存の 2 種の校訂版 (J.-A. Buchon, *Branche des royaux lignages, chronique métrique de Guillaume Guiart*, Paris, Verdrière, 1828; N. de Wailly et L. Delisle, *La Branche des royaux lignages, par Guillaume Guiart, dans Recueil des Historiens de la France*, t. 22, 1865, p. 171-300) を照合しつつ、ギヨーム・ギヤール (Guillaume Guiart) 作『王朝系譜』(*Branche des royaux lignages*) の正確なテキストを確定する。

(2) それに基づいて従来の古フランス語辞書・語彙研究の誤謬を指摘する。とくに、F. Godefroy の『古フランス語辞典』(*Dictionnaire de l'ancienne langue française et de tous ses dialectes*)、A. Tobler et E. Lommatzsch の『古フランス語辞典』(*Altfranzösisches Wörterbuch*)、W. von Wartburg の『フランス語語源辞典』(*Französisches Etymologisches Wörterbuch*) の引用および解釈を批判的に検討し、そこに見られる誤りの影響がどのように語彙研究、フランス語史研究に現れているかを文献学的に調査する。

(3) ギョーム・ギヤール作『王朝系譜』に含まれる、フランス語史的な観点で注目すべき単語・表現を収集し、この作品の意義を裏付ける点を強調し、フランス語史における従来の知見を補完してゆく。

(4) 地方語の問題に関しても同様に言語地理学の成果を活用しつつ、『王朝系譜』の著者の出身地であるオルレアン地方に焦点を当てつつ彼が用いる地方語を浮き彫りにしてゆく。

(5) 関連する中世フランス語作品を収集し、それらを批判的に検討し、補足的な情報を収集する。

#### 4. 研究成果

(1) F. Godefroy の『古フランス語辞典』(*Dictionnaire de l'ancienne langue française et de tous ses dialectes*) だけでなく、A. Tobler et E. Lommatzsch の『古フランス語辞典』(*Altfranzösisches Wörterbuch*)、W. von Wartburg の『フランス語語源辞典』(*Französisches Etymologisches Wörterbuch*)、Paul Imbs の『フランス語宝典』(*Trésor de la Langue française*) でもこの作品は多く引用されているが、ほとんどの場合に写本を参照せず、19世紀の校訂版に基づいているために、その引用の仕方には様々な問題があることがわかった。初出と見なされていたものが、実は校訂版の誤読であったために存在しないものと判明した場合が少なくない。逆に、テキストを読み直す過程で、従来の語彙研究者が見過ごしていた貴重な用例を発見することもできた。piéton « fantassin » の初出は従来、14世紀中葉の武勲詩 *Hugues Capet* に見られるとされてきたが、実は14世紀初頭の『王朝系譜』にすでに使われていると判明したのがその一例である。

(2) このように、フランス語史ならびに言語地理学の観点から、多様な分野の用語について従来の知見を補完する情報を収集することができた。松村が校閲者として参加しているハイデルベルク大学の『中世フランス語語源辞典』(*Dictionnaire étymologique de l'ancien français*)、ナンシーのフランス国立国語研究所の「『フランス語宝典』語源項目の再検討」(TLF-Etym) および「幽霊語研究」(Base des Mots-Fantômes) にとって有益な用例を多数見つけられたことで、今後のフランス語史研究の発展に意義ある成果と言える。

(3) 関連する中世フランス文学作品の校

訂版に関しても批判的な検討を行うことで、それらの校訂版を訂正・補完し、テキストに見られる貴重な用例を発見し、海外の学術誌に成果を発表することができた。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計5件)

① 松村剛 « Compte rendu : T. Hunt (éd.), *Les Paraboles Maître Alan en français* », dans *Zeitschrift für romanische Philologie*, 125, 2009, p. 157-162. 査読有

② 松村剛 « Compte rendu : J. Subrenat (éd.), *Gaydon* », dans *Zeitschrift für romanische Philologie*, 125, 2009, p. 533-535. 査読有

③ 松村剛 « Compte rendu : E. Gaucher (éd.), *Robert le Diable* », dans *Zeitschrift für romanische Philologie*, 125, 2009, p. 582-585. 査読有

④ 松村剛 « Compte rendu : E. Gaucher, *Robert le Diable. Histoire d'une légende* », dans *Zeitschrift für romanische Philologie*, 125, 2009, p. 741-743. 査読有

⑤ 松村剛 « Compte rendu : B. A. Pitts (éd.), *Barthélemy l'Anglais, Le Livre de Regions* », dans *Zeitschrift für romanische Philologie*, 125, 2009, p. 745-746. 査読有

[学会発表] (計0件)

[図書] (計2件)

① 松村剛ほか *Le Souffle épique. L'Esprit de la chanson de geste*, Dijon, Editions Universitaires de Dijon, 2011, 597 pages.

② 松村剛ほか *Autour des quenouilles : la parole des femmes (1450-1600)*, Turnhout, Brepols, 2010, 164 pages.

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

出願年月日 :

国内外の別 :

○取得状況（計0件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕（計3件）

① ハイデルベルク大学『中世フランス語語源辞典』（*Dictionnaire étymologique de l'ancien français*）校閲（<http://www.deaf-page.de/>）

② フランス国立国語研究所（ナンシー）『フランス語宝典』語源項目の再検討（TLF-Etym）校閲（<http://www.atilf.fr/tlf-etym/>）

③ フランス国立国語研究所（ナンシー）「幽霊語研究」（Base des Mots-Fantômes）校閲（<http://www.atilf.fr/MotsFantomes/>）

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

松村 剛（MATSUMURA TAKESHI）  
東京大学・大学院総合文化研究科・准教授  
研究者番号：00229535

### (2) 研究分担者

なし

### (3) 連携研究者

なし